

3月4日は バウムクーヘンの日

～大切なあの人に贈る、とっておきのバウムクーヘン～

3月4日はバウムクーヘンの日、皆さんはご存知でしょうか?1919年(大正8年)3月4日、ドイツ人捕虜として似島の収容所に収容されていた菓子職人カール・ユーハイムが、広島県物産陳列館(現在の原爆ドーム)で開催された「俘虜(ふりょ)製作品展覧会」においてバウムクーヘンを出品したのが日本におけるバウムクーヘンの発祥とされており、これを記念して3月4日は「バウムクーヘンの日」と制定されています。「バウムクーヘンの日」を大切な人へバウムクーヘンを贈る日と位置付け、日本におけるバウムクーヘンの発祥の地である広島から世界への贈り物として、大切な人と分かち合う平和な時間を過ごす文化を世界中に広めていくための取組の第一弾として、一日限定のお楽しみイベントを実施します!

イベントプログラム

小学生向け

バウムクーヘンに様々なトッピングを施してオリジナルメニューを作り、メッセージカードを添えて保護者へ贈呈するワークショップ

保護者向け

カメルーン出身漫画家の星野ルネ氏と児童書「バウムクーヘンとヒロシマ」著者の巢山ひろみ氏の座談会

日 時

令和7年2月22日(土) 午後2時～午後3時30分

開催場所

アルパーク西棟 無印良品 広島アルパーク店
2階 イベントスペース「Open MUJI」

参加
無料



星野ルネ氏



巢山ひろみ氏

応募方法

右記QRコードから広島市ホームページにアクセスし、応募フォームに必要事項を入力・送信してください。
定員:30組(小学1年生～6年生までのお子様とその保護者様)

※ワークショップに参加できる小学生は各組1名のみです。

※応募多数の場合は、抽選を行います。

※座談会は、参加申し込みしていない方もご自由にご覧いただけます。



応募はこちらから

応募締め切り:令和7年2月14日(金曜日)



アフリカにおける平和首長会議加盟都市の拡大が課題となる中、アフリカの中ではカメルーンが最も加盟都市が多いことから、本協議会と広島市が連携し、まずはカメルーンとバウムクーヘンを通じた平和文化の交流に取り組みたいと考えており、バウムクーヘンアレンジレシピコンテストや本イベントの開催を始め、カメルーンの方とともに様々な交流事業を行っています。